

学び深まる 微生物観察

大府東高で愛教大准教授講義

微生物の運動や細胞の仕組みを学ぶ特別講義が二十九日、大府市横根町の大府東高校であった。

愛知教育大（刈谷市）の上野裕則准教授（細胞生物学）が講師を務め、生物科を選択する二年生十五人が受講した。上野准教授はゾウムシを例に、微生物が繊毛やべん毛を使って運動する仕組みを解説。「細胞の繊毛とべん毛は、微生物でも哺乳類でも同じメカニズムで動いている。微生物の細胞の研究を応用すれば、人間の病気の原因究明にも役立つ」と意義を説明した。

生徒たちは顕微鏡で実際に微生物が動く様子を観察し、スケッチして特徴をまとめた。二年生の加々美薫さん（も）は「これまで細胞について知識があやふやな部分もあったが、微生物の観察を通して理解が深められた」と話していた。

同校は二〇一七年度から、理数工教育に力を入れる県教委の「あいちSTEMハイスクール」に指定され、企業や大学の研究者らと連携して、生物や物理など各分野の先端的なテーマを取り入れた授業に取り組んでいる。

（宮崎正嗣）



上野准教授とともに顕微鏡で微生物を観察する生徒ら。大府市横根町の大府東高校で